

# GitHub 入門

環境構築と基本的な操作

# GitHubが提供する主な機能

- **Gitリポジトリ** : コードなどが管理されている空間
- **Organization** : 垢ごとに対象リポジトリに対する権限管理
- **Issue** : タスク管理
- **Wiki** : 文章を共有, 開発ドキュメントやマニュアルが多い
- **Pull request** : コードの修正・変更などの要求申請

# GitHubの為の環境構築

Gitのインストール : <https://git-scm.com/download/win>

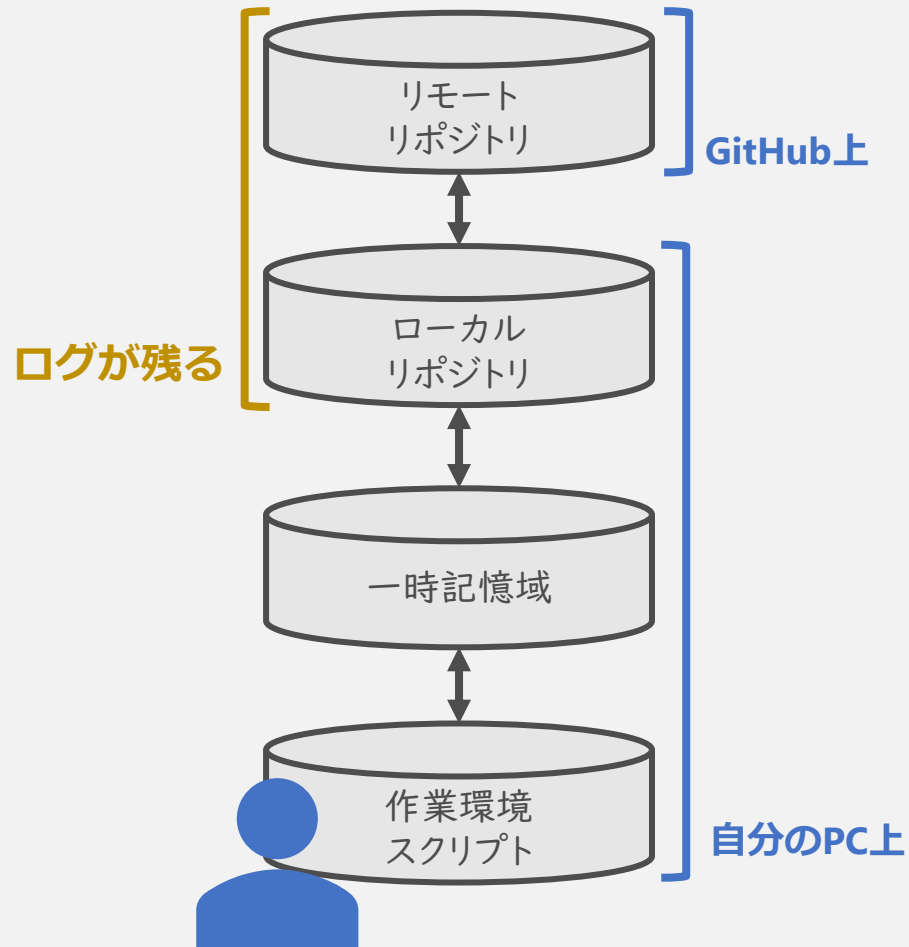
初期設定 | Git Bashを立ち上げて

- `git config --global user.name "名前を入力"`
- `git config --global user.email "メアド入力"`
- (任意) `git config --global color.ui auto`

GitHub垢の作成 : <https://github.com/>

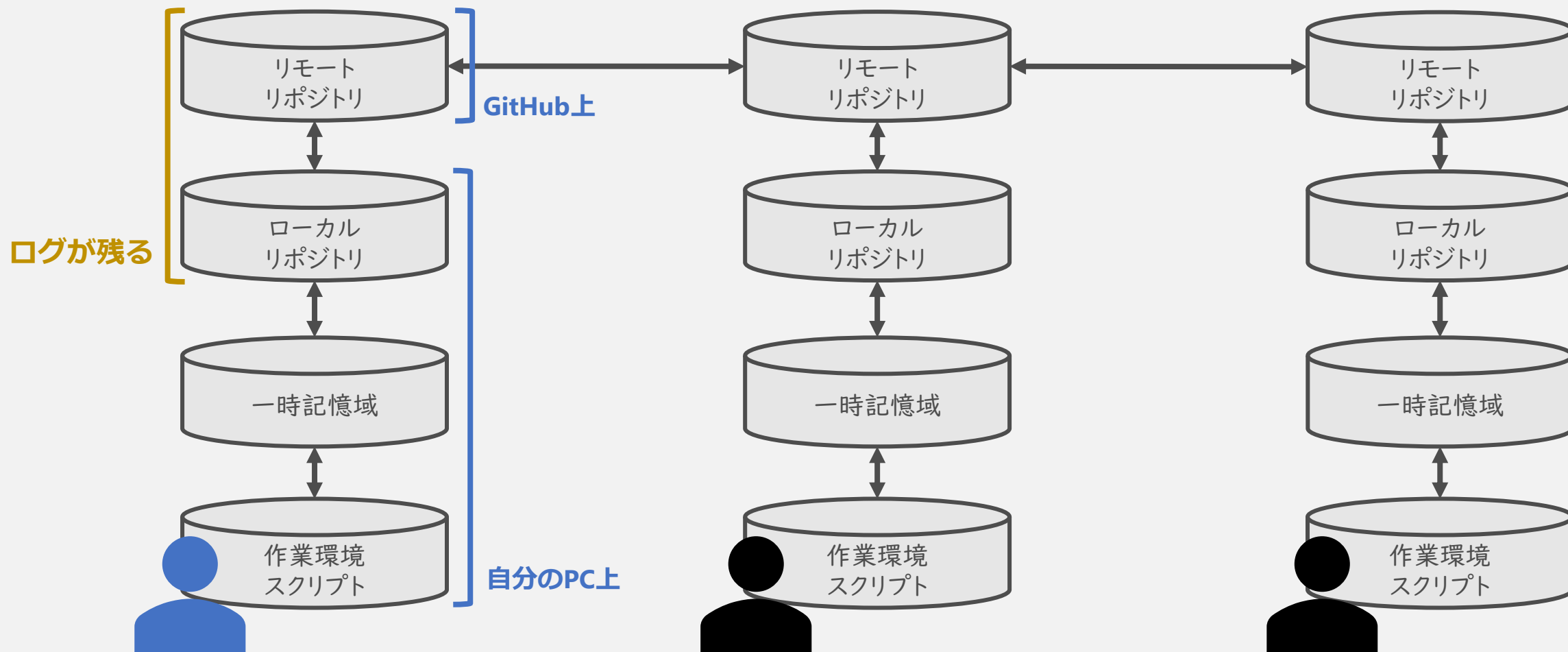
# GitHubのイメージ

リポジトリ：コードを蓄積したり履歴を管理したりしている領域

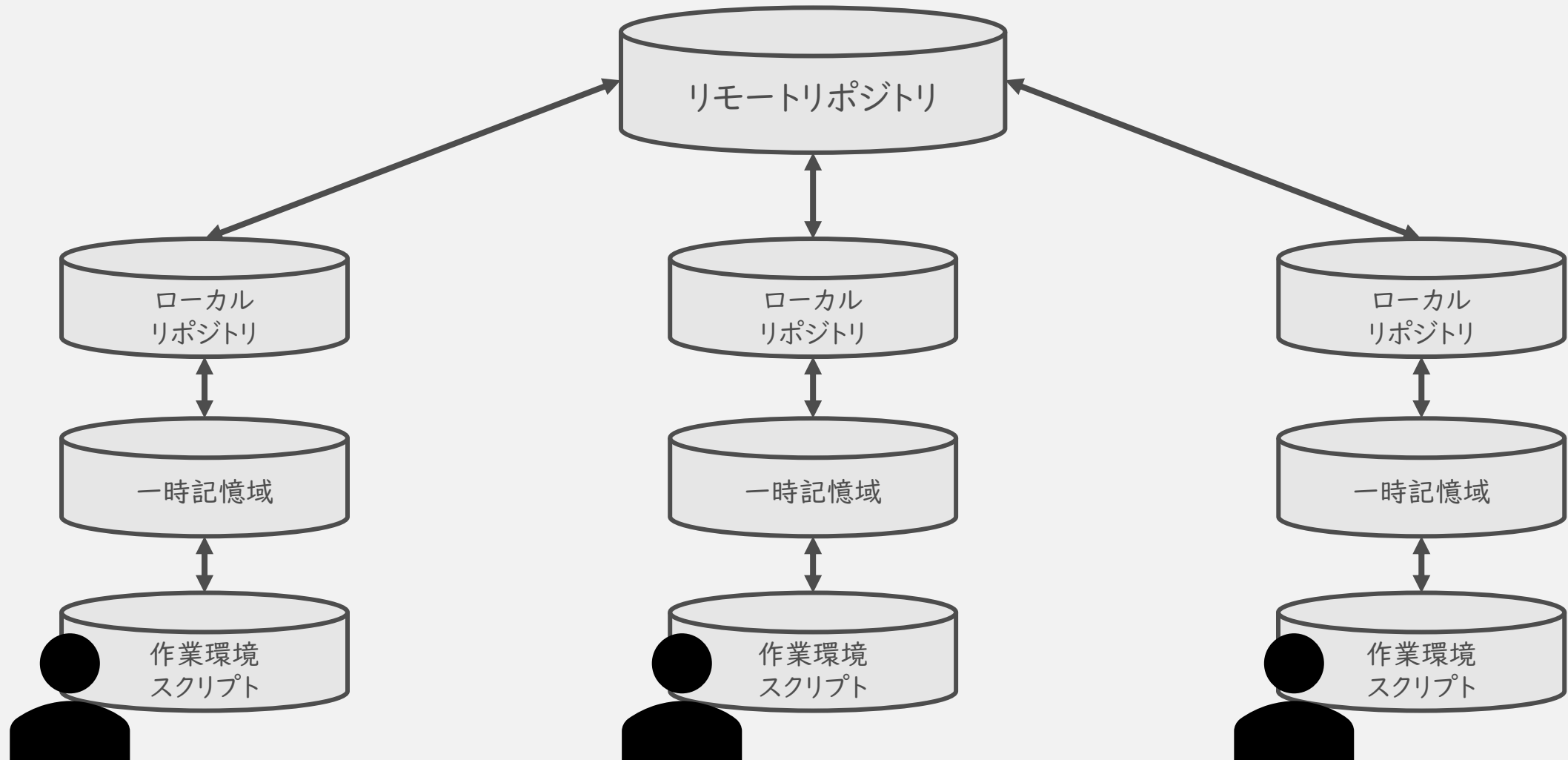


# GitHubのイメージ

リポジトリ：コードを蓄積したり履歴を管理したりしている領域



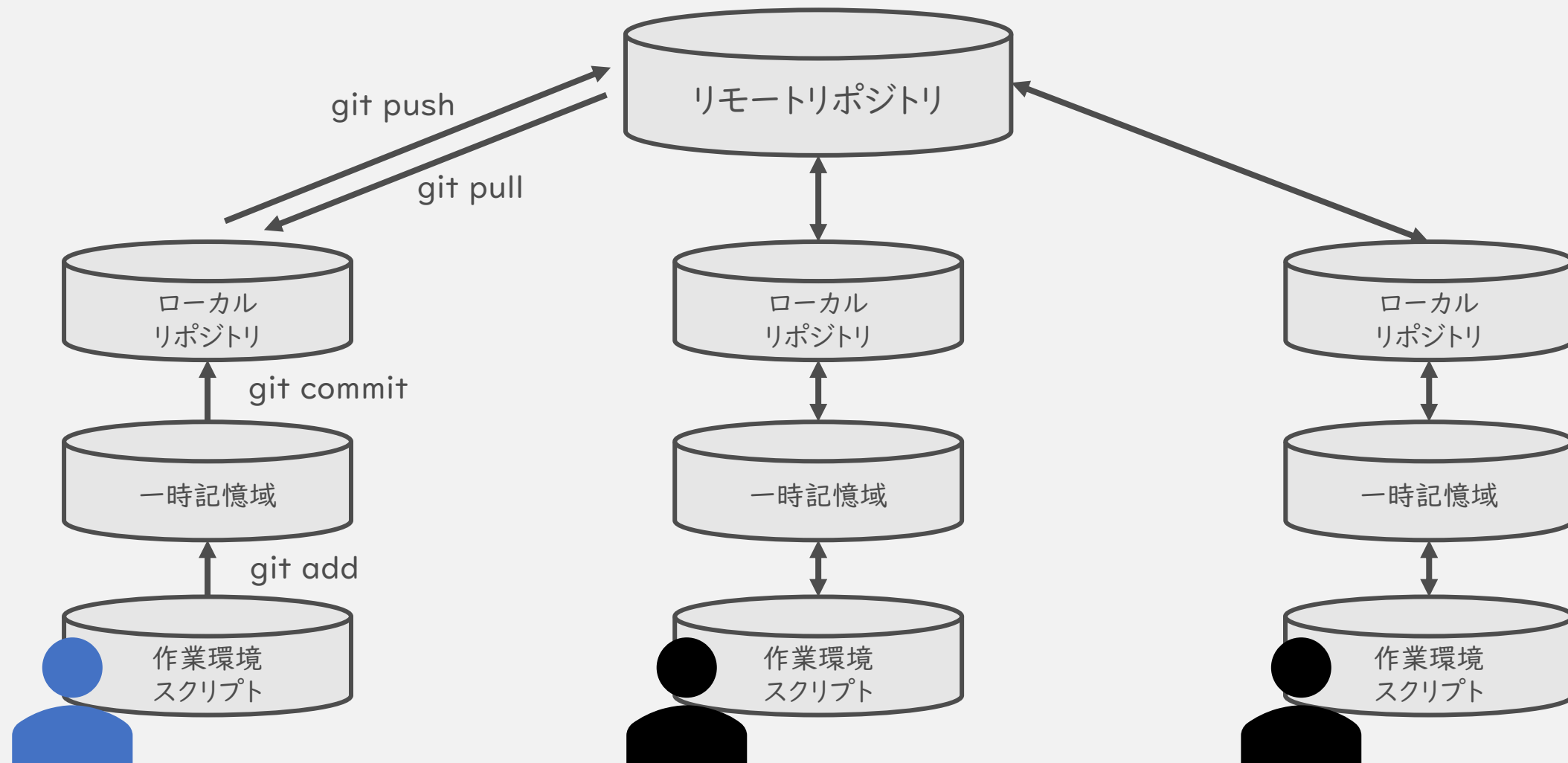
# GitHub(Organization)のイメージ



# 必須コマンド（本当に最小限）

- `git clone https://~` : GitHub上にあるリポジトリを読み込む
- `git add` : パスを指定し一時記憶領域へ追加
- `git commit -m "commit message"` : ローカルリポジトリ追加
- `git pull` : ローカルにリモートリポジトリとの差分反映
- `git push` : リモートをローカルリポジトリの状態に更新

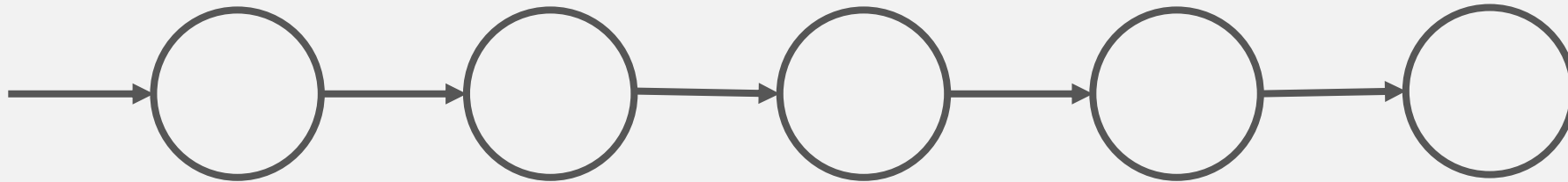
# コマンドと各領域の対応





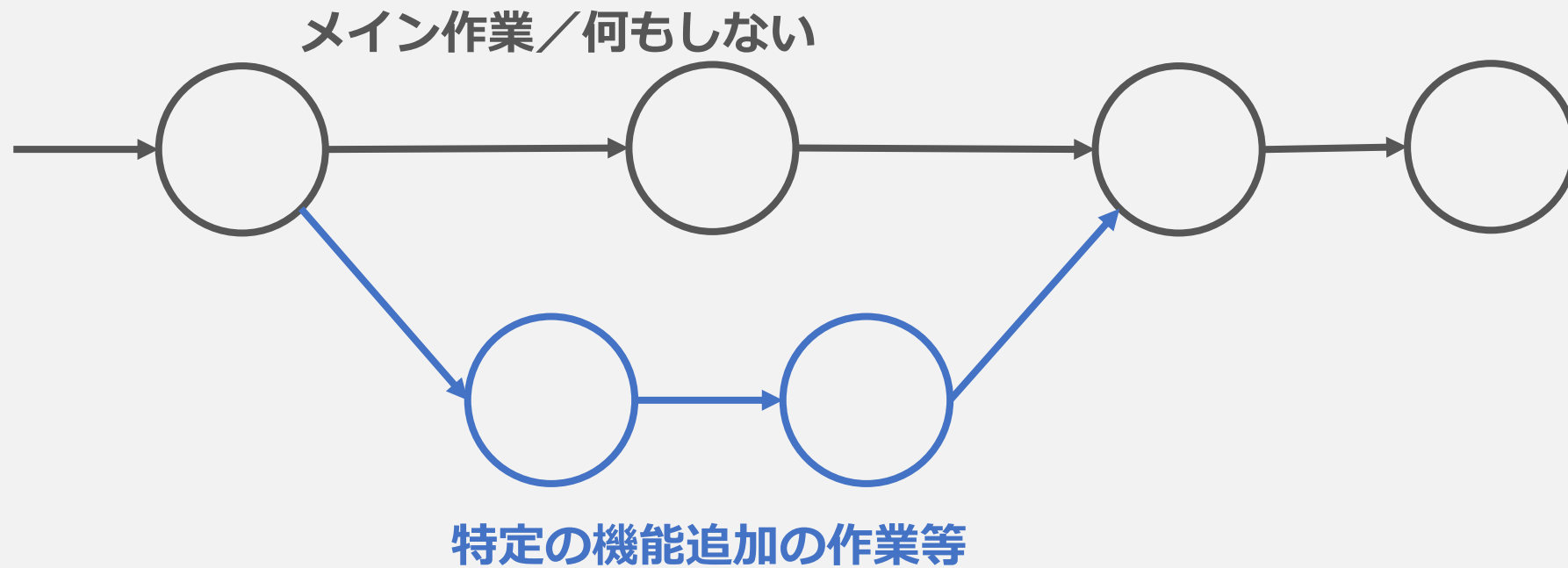
# ブランチとは（今回は多分使わない）

履歴の流れ



# ブランチとは（今回は多分使わない）

## 履歴の流れ



# 覚えておきたいコマンド

- **git status** : 記録されていない作業状態の確認
- **git diff** : 自分の作業内容を確認
- **git log (--graph)** : これまでの履歴確認(見やすくなる)
- **git branch** : ブランチの確認
- **git branch ブランチ名** : 新しいブランチの作成
- **git checkout ブランチ名** : 作成したブランチへの移動
- **git merge ブランチ名** : 現在いるブランチに指定ブランチを結合

# 覚えておきたいコマンド

- `git reset` : 特定の履歴まで遡る為のコマンド
- `git rebase` : 履歴の改ざん

# 実際に作業してみよう

1. GitHub上に自分のリポジトリを作成しよう
2. Cloneしてみる
3. README.mdというファイルを作成し適当な文章を入力
4. 記録する前に差分・作業状態・履歴の確認を試してみる
5. 一時記憶領域⇒ローカルリポジトリ⇒リモートリポジトリに登録してみる